

高圧ガス製造設備保安検査点検表（一般則第 6 条の 2 関係・CE） （CE からの充填事業所を除く）

1. 事業所概要

事業所名称					
事業所所在地		〒			
許可年月日・番号		年 月 日		第 号	
ガス名・処理能力		ガス名		Nm ³ / 日	
製 造 設 備	貯 槽		処 理 設 備		
	容 量		名 称		
	型 式		処 理 能 力		
			開 放 検 査	年 月	
保安検査	年 月 日 氏名		印	氏名	印
協会指導	年 月 日 氏名		印	氏名	印
立 会 者	保安検査	氏名	印	協会指導	氏名 印

2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R 年 月 日 認可・届出 有 ・ 無	
保安教育計画	保安教育計画書	S・H・R 年 月 日 有 ・ 無
	今年度の策定状況	有 ・ 無 適 ・ 否
定期自主検査	自 年 月 日 実施者 至 年 月 日	
申請書類等の整備	適 ・ 否	日 常 点 検 適 ・ 否
基準類の整備状況	適 ・ 否	受 払 記 録 適 ・ 否
設備台帳補修記録	適 ・ 否	
保安教育実施記録	有 ・ 無	
防災訓練実施記録	有 ・ 無	実 施 日 年 月 日

3. 保安管理組織

保安統括者	職 名： 氏名：	同 代 理 者	職 名： 氏名：
保安技術 管 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年	同 代 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年
保安係員	氏名： 免状： 講習：H・R 年	同 代 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年
保安係員	氏名： 免状： 講習：H・R 年	同 代 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年
保安監督者	氏名： 資格：		

* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

4. 定置式製造設備に係る技術基準(一般則第6条第1項準用)

ガス名

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
1. 境界線 警戒標	目 視	製造事業所 境界線の明示 : 有 ・ 無 警戒標の設置 : 有 ・ 無 ローリー停車位置 停車位置の明示 : 有 ・ 無 警戒標の設置 : 有 ・ 無	適 不適	第1項第1号 例示基準1
2. 設備距離	計 測 目 視	第1種設備距離 : 法定 m、実測 m 第2種設備距離 : 法定 m、実測 m	適 不適	第1項第2号
3. 防液堤	目 視	対象～酸素の貯槽 法定容量 m ³ 実際容量 m ³	適 不適	第1項第7号 例示基準5
4. 防液堤内 及び周辺の 設備設置制限	目 視	対象～酸素の貯槽 防液堤内側(10m以内)の不適格設備 : 有 ・ 無 防液堤外側(10m以内)の不適格設備 : 有 ・ 無	適 不適	第1項第8号 細目告示第2条
5. 気密構造 6. 気密試験	試 験 目 視 記 録	・ 酸素のガス設備は気密な構造であること。 ・ 製造設備は常用以上の圧力で漏えいしない。 試験圧力 : 受入部 MPa、貯槽部 MPa 使用ガス名 :	適 不適	第1項第10号 第1項第12号 例示基準7
7. 耐圧試験	目 視 試 験 記 録	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧力で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 非破壊検査(肉厚計測除く)の実施記録 年 月	適 不適	第1項第11号 例示基準7
8. 肉厚計測	計 測 記 録	記録の保存 : 有 ・ 無 計測年月日 : 年 月 日	適 不適	第1項第13号 例示基準8
9. 材料規制	記 録	例示基準第9号で定める材料を使用していないこと。	適 不適	第1項第14号 例示基準9
10. 基礎の 緊 結	目 視 記 録	貯槽(1 t 以上)の支柱は同一の基礎に緊結すること。	適 不適	第1項第15号 例示基準10
11. 不同沈下	目 視 記 録	毎年1回以上測定し、その記録を保管する。 計測年月日 : 年 月 日 上記以外の場合(設置5年以上、基準適合のみ) 目視検査実施日 : 年 月 日	適 不適	第1項第16号 例示基準11
12. 耐震構造	目 視 記 録	地震の影響に対し安全な構造とすること。	適 不適	第1項第17号 耐震告示
13. 温度計等	目 視 記 録	比較テストを行い、記録を保管すること。 範囲内にもどすための措置 : 有 ・ 無	適 不適	第1項第18号 告示6、例示12
14. 圧 力 計	目 視 試 験 記 録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示 : 有 ・ 無 有効年月日の表示 : 有 ・ 無 試験年月日 : 年 月 日	適 不適	第1項第19号 細目告示第7条 例示基準13

ガス名

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
15．安全装置	試 験 記 録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管 吹始圧：設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧：設定圧力の80%以上 作動テスト年月日： 年 月 日	適 不適	第1項第19号 細目告示第7条 の2 例示基準13
16．放 出 管	目 視 測 定	酸素の高圧ガス設備：建築物、工作物以上 開口部レインキャップ：有・無	適 不適	第1項第20号 例示基準14
17．貯 槽 の 液 面 計	目 視	液面計の型式： 90%の表示：有・無	適 不適	第1項第22条 例示基準16
18．貯槽直近 のバルブ	目 視	対象～酸素の貯槽 緊急遮断弁の外2以上のバルブ：有・無	適 不適	第1項第24条 例示基準18
19．緊急遮断 装 置 (5,000ℓ以 上の酸素の液 化ガス)	目 視 試 験 記 録	操作機構：空気式・油圧式・ワイヤー式 操作位置：事務所・従業員控室等及び () 貯槽より：5 m m 作 動：速やかに作動すること。 年次点検：有・無 受入配管：逆止弁・緊急遮断弁	適 不適	第1項第25号 例示基準19
20．保安電力	目 視 試 験 記 録	保安電力の種類： 定期検査の記録：有・無 定期検査年月日： 年 月 日	適 不適	第1条第27号 細目告示第9条 例示基準20
21．温度上昇 防止装置	試 験 記 録	対象～可燃性ガス貯槽又は可燃性物質周辺の貯槽 水源の確保：必要量 m ³ 実測 m ³ 散水量：適・不適	適 不適	第1項第32号 例示基準24
22．防 消 火 設 備 (酸素)	目 視 記 録	消火器の設置個数：B - × 個 定期点検：有・無 消火栓の設置数：有(個)・無	適 不適	第1項第39号 例示基準31
23．通報設備	目 視	通報設備の種類：() 通報設備の作動状況：適・否	適 不適	第1項第40号 例示基準32
24．バルブ 誤 操 作 防止措置	目 視	バルブの開閉方向の明示：有・無 配管内の流体名・方向の明示：有・無 安全弁元バルブの封印等：有・無 適切な足場、照度の確保：有・無	適 不適	第1項第41号 例示基準33

4 - 2 . 定置式製造設備に係る技術基準(一般則第6条第2項関係、その他)

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
1．車 止 め	目 視	車止めの有無：有・無	適 不適	第2項第2号の八

ガス名

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
2. 断熱性能	試 験 記 録	断熱方法 : 真空度 : 0.0266 kPa kPa 昇圧度 : 規定充填量の1/2以上で12時間当たり の昇圧が0.1MPa以下(1200L以下は 0.2MPa)を超えないこと。	適 不 適	参 考

5. 氣密試驗結果

漏 洩 : 有 ・ 無	処 置 : 済 ・ 否 (処置者 :)
漏洩箇所 :	

6. 指示、指導事項

[illegible]